



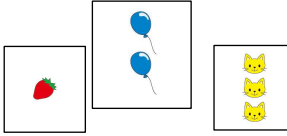
2歳児クラス11月 第2回 「ぐりとぐらの1・2・3」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や数に興味を持ち、シアタータイムを楽しむ。 数え方の単位（助数詞）に興味を持つ。 言葉のリズムを楽しみながら数に親しむ 文章を読むときは、擬音や擬態語などを入れ、語彙を豊富にリズムカルに楽しくその場を盛り上げる。 	教材 ★絵本 ★iPad(シアターセット) 提示用数ドットカード(1~3)	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 講：提示カードを使ってみんなで1~3まで数を確認。数字と数の関係に興味を持たせてからお話しを始める。 	保育士の役割 ・子どもたちと一緒に興味を持って絵本を楽しむ。	

がくしゅうタイム

活動①	数	「1個」「2個」「3個」数を理解し、数えることができる	
設問	3枚の絵カードに書かれた絵の数を数えましょう		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「1から10までいろいろなものが出てきたね…」 保：「今日は数の博士からお荷物届いています」とカードの入った封筒持って登場。 講：「カードのプレゼントだって」カード提示。 保：子どもたちにカード配布。 講：カードを並べて子どもたちとカードの確認。「これと同じカードある？なに(いちご)？いくつある？」 子：講師と一緒にカードの質問に答えながら確認する。 講：「そうだね…いのしいいっほんみちでみつけた いちごひとつ。だったね」とお話のことはと繋げながら「ふうせん」「ねこ」も確認する。 講：カード3枚確認後、「♪クイズ、クイズ。2このものどれ？」とクイズ形式で設問。 子：「これー(ふうせん)」と答えのカードを掲げる。 講：「ピンポン、ピンポン!!」と賞賛。カードを戻し「1こ」「3こ」も同様にクイズを続ける。 ※クイズ終了後そのまま<活動②>に進める。 		<p>教材 絵カード3種 (いちご・ふうせん・ネコ)</p> <p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> カードの入った封筒提示 カード配布 理解できない子のフォロー 賞賛
活動②	数	数字「1・2・3」と具体物「1個・2個・3個」を一致させ、カードを完成することができる	実物参照
設問	「1・2・3こ」の数を理解して自動販売機で数字カードを買い、絵カードを完成させましょう		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 保：「博士からこんなものが届いていますよ」と自動販売機を持って登場。 保：「自動販売機で数字カードを買ってカードを完成させて下さいって」 講：「お買物してみるね。まずは自動販売機のスイッチ入れて…ピッ！」 保：「いらっしやいませ。おはじきを一個入れてください」販売機の後で保育士が声色で自動販売機になりきって講師に話す。 講：おはじきの入ったお皿からおはじき「1こ」取って上の入れ口に入れる。 保：「ピンポン、ピンポン♪」などと擬音を出しながら「1」の数字カードを下の出し口から出す。 講：出てきた「1」の数字カードを取りいちごカードの裏に貼る。続いて「2」「3」を買って貼っていく。(テープのゴミは皿の中) 途中「2」の時に「1個」のおはじきを入れ、自動販売機は「ブー！おはじきの数が違います、もう一度おはじき2こを入れてください」と話しながら、おはじきを下の出し口から出すなど、間違え行動を交えながら楽しく買い物見本を見せる。販売機で買える数字カード=入れるおはじきの数を解りやすくするためにシアタータイムの提示用に使った数ドットカードの数字面を販売機上部にクリップ等で取り付けても解りやすい。 		<p>教材 自動販売機 ※受け皿を組みたてて本体にセットしておく 数字カード(両面テープ付) 活動①で使用したカード 提示用数ドットカード</p> <ul style="list-style-type: none"> おはじき 皿

<ul style="list-style-type: none"> ・講：「みんなもお買い物して、カードを完成させよう。お買い物したい人！」と意欲を引き出し、子どもたちへのお買い物の活動へと進む。 ・保：販売機を持って子どもたちの所を周り、おはじきの指示を出し、お買いものごっこを展開していく。 ・子：販売機の指示を聞いて、おはじきを入れ、数字カードを買い、一致する絵カードの裏に貼ってカードを完成させる。 ・講：全員の3枚のカードが完成したところで「いちごの裏は？…いち=1」と掲げ完成したカードを確認していく。 ・そのほかカードを使った簡単なゲームを展開しても良い。時間が無い場合は保育の自由遊びの中で行っても良い。 遊び例) ①かるた式にお話の中の文を講師が読み上げ正解のカードを取る ②数字面を使って「いっせいのせ！」で1枚出し多い方が勝ち ③絵の面を見せて並べ、講師が掲げた数字カードを見て同じ数のものを取る ・カードの完成を賞賛。今後のカードゲームに期待をもち、終了する。 	<p style="text-align: center;">保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機提示 ・自動販売機になって買い物ごっこを展開 ・理解できない子のフォロー ・カードの回収
---	---

<p>数子ヤレ <small>ねらい</small></p>	<p style="text-align: center;">教材</p>
<p>設問</p>	
<p>活動内容</p> <p><活動1><活動2>を数にチャレンジとします。</p>	<p style="text-align: center;">保育士の役割</p>